

平成19年度 吉備学会 第2回 理事会

日 時 平成19年7月30日(月) 18:30～20:30

場 所 コミュニティ・プラザ 連塾

〒700-0015 岡山県岡山市京山1丁目2番21号 TEL/FAX 086-251-4615

- 議 題**
- (1) 各研究部会活動実施状況に関する事項
 - (2) 各研究部会の再編成と運営方法に関する事項
 - (3) 岡山再発見クイズ講演会(仮称)に関する事項
 - (4) 講師バンクの運営方法に関する事項
 - (5) 「吉備文化を楽しむ会」等の他の団体との組織的な位置づけに関する事項
 - (6) 津田永忠関連事業の世界遺産登録申請に関する事項
 - (7) その他の必要な事項

配布資料 なし

平成19年度 吉備学会 第2回 理事会 議事録

(1) 各研究部会活動実施状況に関する事項

初回の研究部会で話し合われた内容について、事務局より報告

歴史・文化研究部会

登録者：31名（内、仮登録者：10名、参加者：17名）

内 容： 資料館や展示会などを活用しながら、実際に現場に出向き、部会内で発表等し、勉強し合う。まずは、「おかやま発掘最前線 ここまでわかった古代吉備」に参加。情報の集約を行い、一元化を図る。

教育研究部会

登録者：12名（内、仮登録者：4名、参加者：3名）

内 容： 岡山出身の歴史的人物や文化財などをめぐり地域ごとの有名人についての調査。学校教育に郷土史／郷土文化等を編成し、小中高での一貫した教育を行うために、団塊の世代を活用した人材活用などを提案。但し、参加者が役員のみであったため、本研究部会は社会研究部会と統合する旨を、登録者に連絡し全員より承諾を得た。

社会研究部会

登録者：11名（内、仮登録者：6名、参加者：4名）

内 容： 語り継がれるべき／伝承されるべき伝統や芸能、文化をレポートにまとめて冊子等にし、配布する。現在伝えられている伝統・文化・芸能・技能・技術が、どのようにして語り伝えられているのかを調査し、その共通点を探る。まずはこの調査の研究員を募集。

地域振興研究部会

登録者：17名（内、仮登録者：6名、参加者：10名）

内 容： 既存のローバルシティ研究会との連携部会
歴史的な吉備らしさ、そしてこれからの吉備らしさを考えながら、世界的地域都市

岡山の創生を目指して意見を交換する。

「行政が何をしてくれるのか」ではなく、「市民に何ができるのか」の視点を！

地域創生研究部会

登録者：18名（内、仮登録者：6名、参加者：12名）

内 容： 既存の地域創生学研究会との連携部会

地域創生の実践から理論を組み立てる、つまり、実践と理論の融合を目指す。

部会では、研究・調査の成果について問題点や悩みを話し合うことが中心。

食農教育研究部会

登録者：14名（内、仮登録者：2名、参加者：11名）

内 容： 食育のあり方についての検討

食糧自給率や食糧廃棄率、食の流通から考える。

地産地消を目指す。

（2）各研究部会の再編成と運営方法に関する事項

名称の変更に関して： 教育研究部会 + 社会研究部会 文化伝承研究部会

その他の研究部会については変更なし。

運営方法に関して： ・10名以上登録者のいる部会では、各部会ごとに連絡担当者を設置する。

・毎回の活動の議事録を作成する。

（3）岡山再発見クイズ講演会（仮称）に関する事項

今年度の開催回数は2回行うことで承認。

日程予定：第1回 平成19年11月4日（日） 於 国際交流センター

（全国生涯学習フェスティバルにて）

第2回 未 定

（4）講師バンクの運営方法に関する事項

・講師バンクについては現在4名が登録している。

・今後は講師の勧誘を増やすと共に、この活動についても推進していく。

(5) 「吉備文化を楽しむ会」等の他の団体との組織的な位置づけに関する事項

- ・吉備学会とは別の組織として運営するが、活動上の協力はありうる。

(6) 津田永忠関連事業の世界遺産登録申請に関する事項

- ・可能な限り積極的な協力・支援を行う。具体的な支援としては、現地の見学会やセミナーの開催などを行う。

(7) その他の必要な事項

ダイレクトメールの承認作業に関して

ダイレクトメールの依頼は、原則として理事の推薦が必要。その後、内容等については事務局の裁量で判断できるものとする。

吉備学会の後援・協賛に関して

書類審査用の用紙を作成する。

吉備学会広報用リーフレットの作成に関して

広報委員会により広報用リーフレットを早急に作成する。